

広報

みしま

2020

10

October
No. 332



力いっぱい、駆け抜ける！
三島小学校三二運動会

いつまでもお元気で 75歳以上の皆さんに敬老記念品を贈る

町敬老会の開催が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことを受け、9月23日、敬老会の対象となる町内の満75歳以上の皆さんに町職員が全地区を回り、敬老記念品を贈呈しました。

町敬老会の開催が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことを受け、9月23日、敬老会の対象となる町内の満75歳以上の皆さんに町職員が全地区を回り、敬老記念品を贈呈しました。

また、福島民報社から結婚50年を迎えた、星孝雄さん・ハツ子さんご夫妻（西方）に「しあわせ金婚夫婦」の表彰状と記念品が贈られました。



矢澤町長から米寿の記念品を受け取る小松モト子さん（西方）



しあわせ金婚夫婦の表彰を受けた星孝雄さん・ハツ子さんご夫妻

納税功労者と個人県民税優良町に感謝状 福島県から五十嵐勝男さんと町に贈呈

9月1日、五十嵐勝男さん（宮下）と町に守岡文浩会津地方振興局長から感謝状が贈呈されました。五十嵐さんは町納税貯蓄組合連合会長として、組合員の納税意識の高揚に努め、その功績が認められました。また、町は令和元年度の個人県民税の徴収率が前年度を上回り、個人県民税優良町に選ばれました。矢澤町長は「納税に対する町民の皆様のご協力に感謝し、今後も徴収率の向上に努めます」と述べました。



感謝状を手にする五十嵐勝男さんと矢澤町長



感謝状を手にする栗城功さん

地域の安全安心のために尽力 栗城功さんに感謝状を贈呈

9月1日、栗城功さん（宮下）に会津坂下地区防犯協会連合会から感謝状が贈呈されました。栗城さんは、町交通安全教育専門員として活動しながら、多年に渡り地域に密着した防犯活動にも尽力され、その功績が認められたものです。矢澤町長から感謝状の伝達を受けた栗城さんは「これからも地域の安全安心のため、犯罪が起きないように皆さんと協力しながら努めていきます」と述べました。

自己記録の更新を目指して 両沼西部三町村陸上記録会を開催

両沼西部三町村陸上記録会は9月9日、金山小学校の校庭で開催されました。三島小、金山小、横田小、昭和小から5・6年生が参加し、100m走や走り幅跳び、ボール投げなど6つの競技で日頃の練習の成果を競いました。児童たちは、夏休みが終わるとすぐに陸上の練習に取り組み、それぞれが自己ベストの更新に向け最後まで精一杯競技に臨みました。



記録更新に向けて全力で走る児童たち



チーム唯一の安打を放った小松順哉選手

強豪 白河市と対戦 第14回市町村対抗福島県軟式野球大会

第14回市町村対抗福島県軟式野球大会は9月13日、小野あぶくま球場で白河市と対戦しました。試合は初回に10点を奪われる苦しい展開となり、打線も相手投手を打ち崩すことができず、ノーヒットに抑えられていましたが、5回に小松順哉選手（西方）が安打を打ちました。結果は0対14で敗戦となりましたが、選手たちは最後まで全力でプレーし応援団も大きな声援を送っていました。

① 全力・努力・協力 3つの力でがんばろう 三島小学校ミニ運動会を開催

9月17日、三島小学校でミニ運動会が行われ、児童たちが元気いっぱい駆け回りました。

例年は、5月に開催していた運動会ですが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となり、規模を縮小したミニ運動会として開催されました。

種目数も減らし、保護者も観覧に出来ない中での開催となりましたが、児童たちは玉入れや三島っ子タイフーン、全校リレーなど各種目に生き生きと笑顔で参加し、先生方の声援を受けながら、秋晴れの空の下、楽しいひとときを過ごしました。



①しっかり狙いを定めて玉入れ競争 ②接戦となった三島っ子タイフーン 2人一組で3つのカラーコーンを回ってゴールに向かいます ③最終種目は三島小全校リレー

改修前



改修後



改修前

本施設は、都市部の人々に新しい働き方と暮らし方を提案する一方、地域の方々に空き家の可能性を提示する施設となっています。施設名称に集落名を入れたのは、今後このような施設が集落ごとにも営まれたらいいのではないかの思いがあるからだそうです。

IORI 倶楽部事務局長の金親丈史氏は、「空き家を地域に開くことで、新しい可能性が拓けてくるのではないでしょう。この施設が一つの先行事例となり、今後、他の地区でも地域が活性化するように施設として空き家を改修する動きが出てくるといいですね。町内に点在する施設が有機的につながると町の活性化にもつながるのではないかと考えています。施設整備を望む地域に対しては、今後サポートを行っていききたいです」とお話しされていました。



*ワーク・ラボ／早戸本村は令和元年度福島県遊休施設等活用事業（補助金）の採択を受け整備しました。

空き家の利活用については随時ご相談をお受けしています。
 ◇三島町役場 地域政策課地方創生推進係 0241-48-5533 ◇

『空き家を地域に開く』

ワーク・ラボ／早戸本村は、一般社団法人 IORI 倶楽部（理事長 佐久間源一郎氏）が築80年の蔵座敷付住宅を改修、整備したテレワーク施設です。

テレワークとは、情報通信機器等を活用し、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことをいいます。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、会社に出社する必要のないテレワークが全国的に普及し、地方にいながら働ける可能性が高まったことから、今後地方移住を考える方が増えると予想されています。

本施設は1週間～半年程度の期間、有料で借りることができ、自然豊かな三島町に暮らしながら、テレワークが体験できる施設となっています。

また、建物内に交流スペースがあることで、地域の方々と関わる機会も生まれ、より三島町での暮らしを身近に感じてもらうことができます。

改修後 住宅1Fの交流スペース(奥はキッチン、扉の奥はシャワールームとなっている)。

空き家コラム
 ワーク・ラボ／早戸本村
 (蔵座敷付き住宅)の
 ご紹介



1階と蔵座敷部分は共有スペースとなり、町民の方にもご利用いただける空間となっています。利用方法などのお問い合わせは、一般社団法人 IORI 倶楽部 金親丈史 0241-52-3444 まで



駒形神社の祭礼とグラウンドゴルフ大会

文・写真 佐久間絹江さん(滝原)

9月15日、午前10時からの祭礼に先立ち、駒形神社の参道と多目的広場の除草、清掃作業を行いました。今年は、参拝者が足元を滑らせないよう石段の苔も丁寧に除去、綺麗な参道となり祭礼も滞りなく終わりました。正午からは多目的広場でグラウンドゴルフ大会が開催され、参加された皆さんは和気あいあいとゲームを楽しみました。朝早くから清掃活動、祭礼、グラウンドゴルフ大会と盛りだくさんでしたが、天候にも恵まれ地区の皆さんの協力により、無事に終えることができました。



三島神社 秋の例大祭 祭典行われる

文・写真 小島 純さん(宮下)



新型コロナウイルス感染症の影響により、三島神社御祭禮は、奉納神楽、神輿渡行、子供神輿、山車曳山など、全て中止となりましたが、9月12日、三島神社社殿において青木宮司による祭典のみが行われました。出席者は神社総代(総代長:細堀清)と加藤善久区長のみ限定して実施され、粛々と執り行われました。新型コロナウイルスの一日も早い終息と、来年は盛大に三島神社例大祭が挙行できることを願い、今年の例大祭を終了しました。



開花を楽しみに ~宮下駅前花壇ぎる菊植栽~

文・写真 小島 純さん(宮下)

宮下地区委員会(加藤善久区長)では、9月16日宮下駅前にある花壇にぎる菊を植栽しました。宮下地区の杉原博信さんのご厚意によるもので、杉原さん宅の花壇で丹精を込めて育てられたぎる菊10鉢を丸型のプランターに移植したものを、宮下駅前花壇に軽トラックで運び植栽されました。11月上旬に見ごろを迎える予定で、宮下駅を利用される方や駅前を通る方に秋のおもてなしの気持ちを込めながら、参加された皆さんは植栽作業に汗を流しました。



広報みしま 皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

役場 特命担当課 ☎(48) 5232



二百十日のおこもり

文・写真 佐久間絹江さん(滝原)

立春から数えて210日目は9月1日にあたります。滝原地区の駒形神社では前日の8月31日に西方地区から青木宮司をお迎えし、二百十日のおこもりを実施しました。本来は夜通し実施する習わしのところ、近年は高齢化や社会情勢を考慮し、短時間でを行っています。昔から農作物に多大な影響を与える台風が多く発生するこの時期に風を鎮める祭りをし、収穫の無事を神様に祈る行事で家内安全もご祈禱していただき地区住民の皆さんは今年も農作物が無事に収穫できるよう祈りを捧げていました。



『歩く県道』美女峠の草刈り行われる

文・写真 菅家壽一さん(間方)



9月5日・6日、間方から昭和村に通じている、美女峠(県道小林宮下停車場線)の草刈りが行われました。道路管理者の県から町への委託事業を地区で行っているもので、10名が参加して行われました。残暑の中、参加した方々は慣れた様子で刈払い機を操作し、雑草がきれいに刈り取られていきました。県では、現時点での自動車道の整備は困難なことから「歩く県道」として草刈り等の管理を行い、歴史と伝説のある美女峠の活用を推進しています。紅葉の楓の中の森林浴にぜひお出でください。



秋の道草刈り作業に汗を流す

文・写真 角田伊一さん(川井)

9月6日、伊豆神社の祭礼を前に恒例の秋の道草刈り作業を実施しました。この日は何時にも増して暑さの厳しい日でしたが、参加者は早朝から汗だくになりながら、地区内の主要道に生い茂る草木を刈り払いました。普段、車の通らない山沿いの路肩などは、繁茂する蔓草におおわれて車の通行もままならぬ箇所が多く、交通事故の恐れもありましたが、献身的な共同作業によりきれいに刈り払われ、安心して通行できるようになりました。あまりに暑いので作業は午前中で終了となりました。



「秋の人足」で地域の農道を守る

文・写真 本名与四郎さん(西方)



9月6日、「秋の人足」が行われました。早朝から強い陽光があたり一面に差し込むなか、それぞれが分担された箇所に分かれて作業を開始しました。普段は通ることが少ない農道や林道の雑草は、暑さと長雨の影響で大人のひざ丈以上に伸びていました。途中で休憩をとりながら、今年はきのこの生育が良くない話やイノシシや鹿が田畑を荒し頭を痛めている話など情報交換を行う場面が見られました。秋の人足によって、地域の環境美化だけでなく、心の交流を深めることができましたようです。

健診のメリット

①毎年検診を受けることで、自分の体調の変化や生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症等）の早期発見、悪化の予防・改善ができます。

※外見からは、わからない体の中の状態は健診結果からのみ知ることができます。

②毎年健診を受けることで、医療負担が少なくなる傾向にあります。

三島町の令和元年度の1人当たりの医療費を比較してみました。

【国保被保険者】

健診未受診者	健診受診者
21,920 円	15,548 円

※健診受診、未受診者の生活習慣医療費 / 健診対象者数（生活習慣病患者数）

○特定健診

- ・身体測定（身長、体重、腹囲測定）
- ・血圧測定・尿検査・心電図
- ・血液検査・医師による診察（健康について困っている事などをご相談ください）

○若年健診

- ・特定健診から尿中アルブミン検査を除いた内容

○各種がん検診

- ・肺がん・胃がん・大腸がん・前立腺がん



「みしま健康ポイント」の対象（3ポイント）です！

※年に一度の健康チェックを、ぜひこの機会に！

町民センター図書コーナー

「ゆめぼけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぼけっと』利用時間
 ①～⑤ 午前9時～午後9時 ⑥⑦⑧ 午前9時～午後5時
 ※年末年始は閉館いたします。☎ 公民館 ☎ (48) 5599

わたしの美しい庭

凧良 ゆう：著

マンションの屋上庭園の奥にある縁切り神社。地元の人からは「屋上神社」とか「縁切りさん」と気安く呼ばれていて、断ち物の神さまが祀られている。そこを訪れる「生きづらさ」を抱えた人たちと「わたし」の物語。『流浪の月』の凧良ゆうが贈る、救いに満ちた感動作！

☆新着本

Blue（ブルー）

葉真中 顕：著

鎌倉の家

甘糟 リリ子：著

合～岬洋介の帰還～

唱～中山七里：著

人 間

又吉直樹：著

発注いただきました！

朝井 リョウ：著

『桐島、部活やめるってよ』でのデビューから10年。森永製菓、JRAなど様々な企業からの原稿依頼があった著者。原稿枚数や登場人物、物語のシチュエーションなど、小説誌ではあまり例を見ないような制約、お題が与えられるなか、著者はどのように応えてきたのか！？短編小説14本、エッセイ6本を収録。



作成・編集 地域おこし協力隊 三澤龍太（情報発信担当）

地域おこし協力隊コーナー
 Vol.6

よしがき えりこ
 吉垣 絵梨子さん



移住・定住
 空き家バンク管理等



係内での打ち合わせの様子

今回ご紹介するのは、今年度地域おこし協力隊3年目の吉垣さんの活動についてです。移住コーディネーターとして、三島町の移住定住や空き家対策等の業務に従事しています。今回は吉垣さんの日頃の活動についてお聞きしました。

～現在の取組みについて～
 今年度、空き家に関して、所有者の意向調査と、「三島町空き家活用モデル事業」に取り組んでいます。これは、空き家の活用と町内の慢性的な住宅不足の解消を目的に、町が空き家を借り上げ、町・国の予算で改修工事を行い、町の管理の

もと貸し出しを行う事業です。新しい取り組みなので、他自治体の事例を参考に、三島町に合う形となるよう係内をはじめ、関係者の方々と話し合い、協力しながら進めています。物件の募集が終わり、今後内見調査を経て選考に入っていきますが、現在はその事務作業などを行っています。

移住定住に関しては、移住者向けパンフレットを作成しました。三島町ならではの暮らしの魅力やここでの暮らしを満喫されている移住者の方々を紹介した冊子となっています。パンフレット制作を通して、地域の方々、移住者の方々から様々なお話を伺え、吉垣さん自身新たな



移住者向けパンフレット

な三島町の魅力を発見できたのは貴重な時間でしたと話していました。

現在、コロナ禍の影響で移住希望者の方々の目に触れる機会はなかなかありませんが、観光協会や生活工芸館、交流センター山びこなど町内観光施設に置いてありますので、ぜひ町民の方々にもお手に取っていただければと思います。

また、広報みしまにおいて移住定住促進ページが作成されており、三島町に移住された方にインタビューしたり、空き家を有効活用するための情報発信にも力をいれています。



広報みしまの吉垣さんの記事

知識も経験もなく業務に就きましたが、様々な研修やセミナーに参加したり、関係者と話し合いながら、少しずつ知識や経験が深まってきたところで、空き家に関しては、時代背景や諸般の事情、個人の想いなどが絡みあい、一朝一夕には進まないのが現状ですが、今後ますます増えるであろう空き家が『問題化』しないよう、持続可能な相談体制や仕組みづくりの確立が大切だと考えています。そのためにもできることに引き続き取り組んでいきたいと思えます。

今後も広報を通して吉垣さんの活動を皆さんにお知らせします。



移住者向けパンフレットの1ページ

令和元年度

決算

町の一般会計と7つの特別会計の令和元年度決算が、町議会9月定例会で承認されました。一般会計は前年度と比べて歳入は18・1%、歳出は19・2%の大幅な増となりました。実質的な赤字はありませんが、町の「借金」の状況を表す実質公債費比率が上昇傾向にあり、将来負担比率は算定されていませんが、財政負担の軽減に主眼を置いた事業実施の必要性が増しています。

財政健全化

自治体の財政破たんを未然に防ぎ、財政状況の悪化した自治体に対して早期に健全化を促すために、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」があります。この法律に基づき、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。当町はすべての値が早期健全化基準を下回っており、健全財政を維持しています。しかし自主財源に乏しく国に頼る財政基盤であるため、今後も慎重に財政運営を進めていきます。

健全化判断比率

判断指標	令和元年度	平成30年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0%	30.0%
実質公債費比率	4.68%	3.99%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—(※)	—(※)	350.0%	—

(※) 平成30・令和元年度の将来負担比率はマイナスとなり算定されないため「—」となります。

資金不足比率

対象となる事業	令和元年度	平成30年度	経営健全化基準
簡易水道事業	不足なし	不足なし	20.0%
農業集落排水事業	不足なし	不足なし	
戸別合併処理浄化槽事業	不足なし	不足なし	

基金

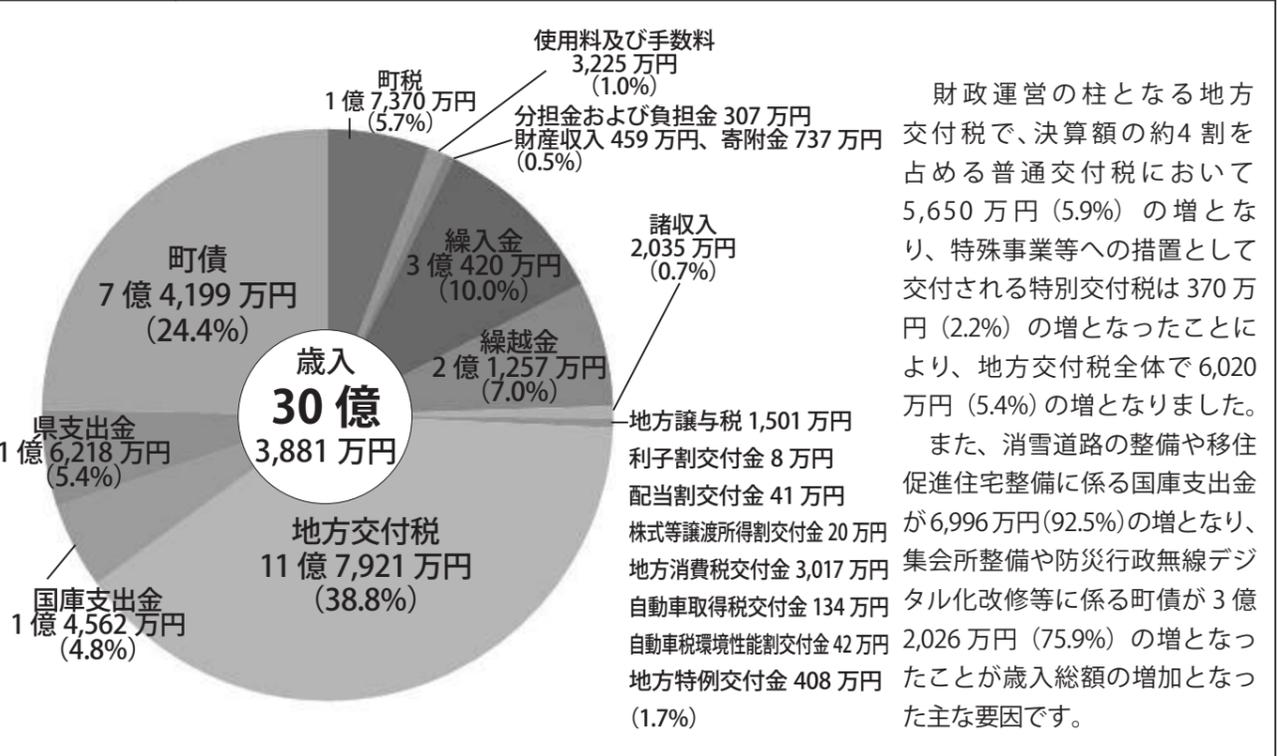
安定した財政運営を維持するとともに、万が一の緊急事態に対応するため、町では基金の維持に努めています。基金には財政調整基金などの積立基金と、各種貸付基金からなる定額運用基金があります。令和元年度は、財政調整基金1億1,680万円を取り崩して財源を確保し、公共施設整備基金には5,395万円を積み増しました。今後も将来負担に備え、必要となる財源確保に向けた基金の運用に努めていきます。

基金種別	令和元年度末残高	増減
積立基金	18億8,545万円	-6,127万円
財政調整基金	7億8,366万円	-1億1,680万円
その他の各種特定目的基金	11億1,799万円	+5,553万円
定額運用基金	1億1,592万円	±0万円
うち貸付額	7,625万円	-65万円
うち現金	3,967万円	+65万円

地方債

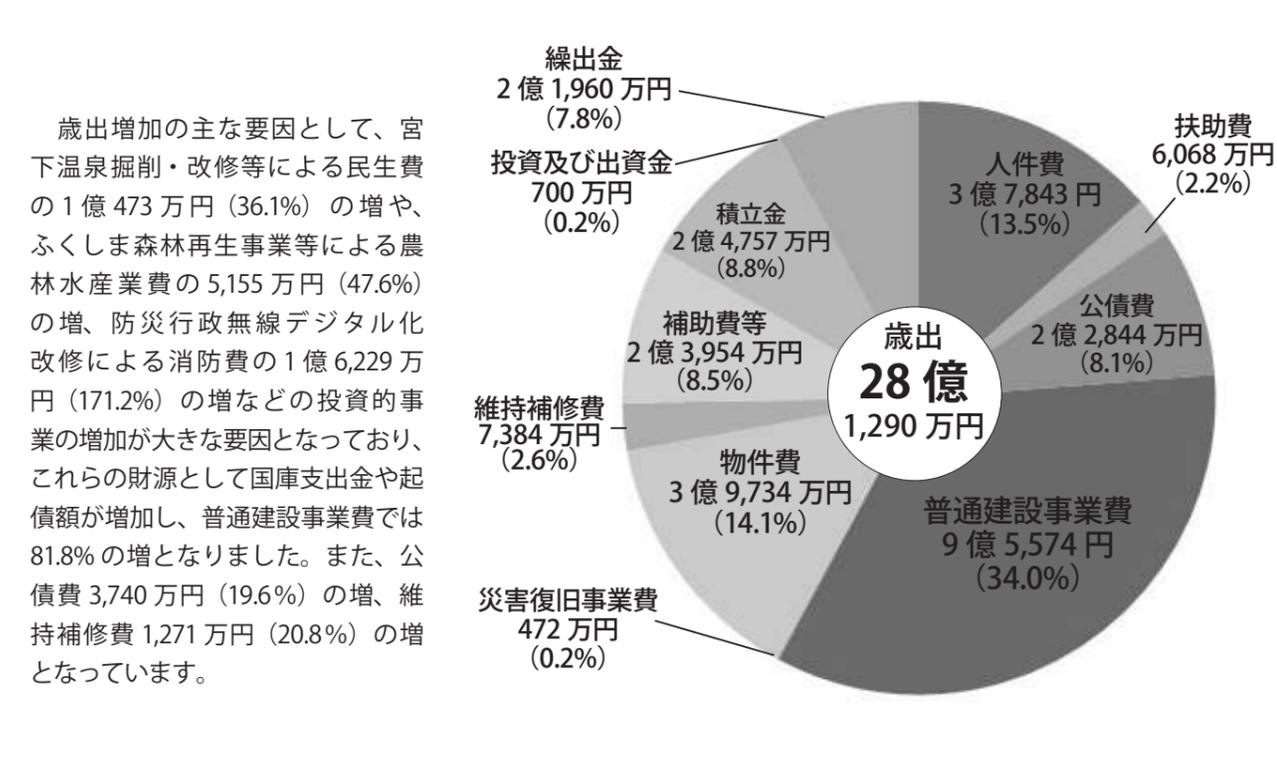
多額の費用を要しても町民のために重要と判断された事業は、国や県の補助金のほか、返済額の70%が地方交付税で措置される過疎対策事業債などの地方債、いわゆる「借金」をして実施しています。令和元年度末の地方債残高は44億9,114万円（うち一般会計分35億4,373万円）となっており、健全財政を維持する範囲内で、今後も重要事業は計画的な借入れにより実施していきます。

一般会計 歳入 国庫支出金及び繰入金、町債の増等により18.1%の増



財政運営の柱となる地方交付税で、決算額の約4割を占める普通交付税において5,650万円(5.9%)の増となり、特殊事業等への措置として交付される特別交付税は370万円(2.2%)の増となったことにより、地方交付税全体で6,020万円(5.4%)の増となりました。また、消雪道路の整備や移住促進住宅整備に係る国庫支出金が6,996万円(92.5%)の増となり、集会所整備や防災行政無線デジタル化改修等に係る町債が3億2,026万円(75.9%)の増となったことが歳入総額の増加となった主要因です。

一般会計 歳出 投資的事業の増加により19.2%の増



歳出増加の主要因として、宮下温泉掘削・改修等による民生費の1億473万円(36.1%)の増や、ふくしま森林再生事業等による農林水産業費の5,155万円(47.6%)の増、防災行政無線デジタル化改修による消防費の1億6,229万円(171.2%)の増などの投資的事業の増加が大きな要因となっており、これらの財源として国庫支出金や起債額が増加し、普通建設事業費では81.8%の増となりました。また、公債費3,740万円(19.6%)の増、維持補修費1,271万円(20.8%)の増となっています。



決算が承認された9月議会



会津坂下警察署からのお知らせ

全国地域安全運動を実施します

期間：10月11日から10月20日までの10日間

運動重点

- 子供と女性の犯罪被害防止
- なりすまし詐欺の被害防止
- 地域の犯罪発生実態に即した各種犯罪の被害防止

メインスローガン

『みんなでつくろう 安心の街』

サブスローガン

『消せないよ心のきずとそのしゃしん』

「ながら見守り」で地域の子供と女性を守ろう

子供が不審者に声をかけられる事案の多くは、下校時間帯の午後1時から午後5時に発生しています。犬の散歩、買い物、庭の掃除、ウォーキングなど日常生活の中で、子供たちを見守る活動をしましょう。子供たちの下校時間にあわせて、しながら見守りをしましょう。

不審者を見かけたらすぐに通報してください。

会津坂下警察署 生活安全係 ☎ 0242 (83) 3451

街頭犯罪発生件数(8月31日現在)

区分	管内	三島町
空き巣	1	
自動車盗	1	
自転車盗	1	
自販機ねらい	1	
車上ねらい	1	
街頭犯罪合計	5	0
その他刑犯等	31	2
全刑法犯	36	2

会津坂下署管内では、倉庫荒らしなど建物に侵入されて金品を盗まれる事件や8月にはトラックの盗難事件も発生しています。防犯の基本は施錠です！施錠できない場所にはセンサーライトなどを設置しましょう。車や自転車は必ず施錠しましょう。○その他刑犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。※上記発生件数は、令和2年1月1日からの累計数となっています。



消防署からのお知らせ

水害に注意！

2019年10月に発生した「令和元年東日本台風」とその2週間後に発生した大雨により福島県は大きな被害を受けました。水害から自分の命と大切な人の命を守るため“いざ”というときに備えましょう！

大雨の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	防災気象情報 (気象庁など)	避難情報 (市町村)
5	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生 大雨特別警報 氾濫発生情報 	命を守る 最善の行動
4	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 	避難指示(緊急) 避難勧告
3	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 	避難準備・高齢者等避難開始
2	<ul style="list-style-type: none"> 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 	避難場所や経路を確認
1	<ul style="list-style-type: none"> 週間天気予報の「警報級の可能性」、気象情報を確認 	災害への心構えを高める

(気象庁資料より)

※警戒レベルに合わせた行動をとりましょう

- ・警戒レベル1

防災グッズを準備し非常時に備える！

- ・警戒レベル2

避難経路と避難場所を確認！

- ・警戒レベル3

危険な場所から子どもや高齢者は避難！

- ・警戒レベル4

危険な場所から全員避難！

会津坂下消防署 三島出張所

—火事・救急・救助は— 電話 (52) 3032
119番まで FAX (52) 3033

第一回では、旧宮下村・西方村・西山村域内の出品物計十六点(うち、現在の三島町域内は十二点)は五疊敷村(現柳津町)の猪股安次なる人物

内国勸業博覧会 現三島町域内出品物及び出品者一覧

出品物	出品物製作地	出品者	受賞
銅 鉢	大石田村	上野 鎗五郎	なし
銀 鉢	大石田村	上野 鎗五郎	なし
鉢 石	滝谷村	山内 藤吉	なし
砥 石	大谷村	五十嵐久太郎	なし
漆 蠟燭	松原村	阿部 太郎吉	なし
湯 花	早戸村	猪股 安次	なし
蚊帳地	滝谷村	大竹 ツナ	なし
生 糸	大谷村	二瓶 萬三郎	なし
西方紙	名入村	五十嵐政十郎	なし
塵 紙	名入村	五十嵐政十郎	なし
柝 子	浅岐村	猪股 安次	なし
人 参	西方村	栗城 定吉	なし
第2回 延 紙	大登村	渡部 禎二	褒状
第3回 搗 栗	西川村(大登)	渡部 禎二	褒状
葛 粉	川西村(西方)	小松 民吉	褒状
第4回 『出品部類目録』確認	のかぎり出品物なし		
第5回 生 蠟	川西村(西方)	渡部 寅太郎	褒状

○参考文献
第1回 『明治十年内国勸業博覧会出品目録』
『明治十年内国勸業博覧会賞牌褒状授与人名録』
三島町役場所蔵文書
第2回 『第三回内国勸業博覧会受賞者人名録』
第3回 『第四回内国勸業博覧会出品部類目録』
第4回 『第五回内国勸業博覧会受賞名鑑』
第5回 『第五回内国勸業博覧会受賞者のみ確認し出品全体は不明』
※表は上記参考資料により現在判明しているもの(第2回は未確認。第3回・第5回は受賞者のみ確認し出品全体は不明)

ご家庭に古い文書や古い写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。 ☎ (52) 2165

参考 国立国会図書館「博覧会 近代技術の展示場」
<https://www.ndl.go.jp/exposition/index.html>

三島町史編さん室

町史編さん室だより

第57回

現三島町域からの『内国勸業博覧会』への出品

「内国勸業博覧会」は明治十年(一八七七)に東京の上野公園で第一回を、明治十四年(一八八一)に第二回、明治二十三年(一八九〇)に第三回を同じ場所で、第四回は明治二十八年(一八九五)に京都の現岡崎公園で、第五回は明治三十六年(一九〇三)に現天王寺公園・現新世界でそれぞれ開催されました。政府が主導し、第一回で数十万人、第五回には数百万人もの人々が入場した大規模な博覧会です。その名称に「勸業」とあるように産業を奨励しており、全国から出品物を募集するだけでなく審査も行われ、優秀な作品には賞牌や褒状が与えられました。

三島町には第五回内国勸業博覧会に関する文書が遺されています。開催前年となる三十五年五月に県庁の事務員が出品の勧誘に宮下まで来るので小学校に参集するようにとの通知です。

では三島町域内において、第一回〜第五回まで誰がどんなものを出品したのか、現在明らかになっているものを表にしました。

が取りまとめで出品したのか出品目録には彼の名前が大きく書かれ、表に掲載した者の名や製作地(採掘地)は添えるように小さく書かれています。出品物の中には「銅鉢」や「銀鉢」があり、これは出品者が大石田鉦山において当時鉦業権を有していた上野鎗五郎氏であることから、鉦山において採掘したものだと考えられます。また名入村の五十嵐政十郎氏からは「西方紙」が出品されています。「西方紙」は江戸時代後期に編さんされた『新編会津風土記』巻之八十、滝谷組についての記述で「本組ノ諸村ニテ多ク製ス此村ノ産殊ニ勝レタリトテ総テ西方紙ト称ス」と書かれた歴史あるものです。この「西方紙」がいつまで作られていたかは不明ですが、第一回が開催された明治十年にはまだ生産されていたことがうかがえます。

第二回では大登の渡部禎二氏出品による「延紙」が褒状を授与されています。この褒状の写しが遺されており、延紙の厚や質が評価されたことや、製紙や印刷等で著名な榛原直次郎や沼井利隆、陽其の三名が審査官であったことがわかります。時代が前後する可能性もありますが、延紙については明治四十五年(一九一三)に勸業功労者として渡部氏を推薦する文書に、従来の西方川口判の紙製造が減退したので、石城郡平在高野村(原文ママ、現いわき市)の高萩忠太氏に「磐城延紙」の製法を学び、村内や隣村に伝えたと書かれています。

第三回では大登・渡部禎二氏出品による「搗栗」と西方・小松民吉氏出品の「葛粉」が、第五回では西方の渡部寅太郎氏出品の「生蠟」がそれぞれ褒状を授与されています。なお、第四回は出品目録を確認するかがり、現三島町域内からの出品はなかったようです。



環境研だより 第27回

三島町が進める森林整備

三島町のみなさま、こんにちは。これまで生活工芸館の薪ボイラー冷暖房システムや、その燃料となる薪を作り出す木の駅事業についてご紹介してきましたが、今回は三島町が行っている森林への取り組みについて、三島町役場 産業建設課産業係の三浦健太郎さんにお話を伺いました。

—三島町の山の整備は現在どういう状況なのでしょう

【三浦さん】三島町の山の多くは手入れがされていない状態です。また所有されている山の境界がわからなくなってきている、という問題もあります。国土調査が実施されていけば座標での管理ができるのですが、三島町の国土調査の実施率は1%以下で、新たに測量等をして境界を調査すると手間も費用もかかってしまうため、境界が確定していない山でも、所有者の方から許可をいただければ、台帳面積を目安に町で整備を実施したいと考えています。

—山はなぜ整備しなくてはいけないのでしょうか

【三浦さん】森林には家や家具を作るために使う木材や薪などの資源の供給元、大雨が降った時の土砂災害の防止、山登りやハイキングなどのレクリエーションの場などといった様々な機能があります。しかし、適切に整備しないとそれら機能が十分に発揮されません。また、山が荒れていると人が入りにくくなるため、野生動物が繁殖して生息域が広がってしまい、鳥獣被害も増加してしまいます。

町にとっては、編み組細工の材料を集める場としても大切ですが、適切な整備をしなければ木々が日光を遮って材料の育ちが悪くなったり、採取に入るのが困難になったりといった悪影響があります。

—具体的に森林の整備とはどういったものなのでしょうか

【三浦さん】密に生えている木々を間引く「間伐」と林業を行いやすくするための「作業道の整備」を実施しています。例えば平成30年度～令和元年度の期間では、大石田地区において「ふくしま森林再生事業」により21.44haの間伐と3,189mの作業道整備を実施しました。



大石田地区の間伐の様子

—今後、町は森林に対してどのような取り組みを行うのでしょうか

【三浦さん】今年度から来年度にかけて、「ふくしま森林再生事業」で西方地区の間伐を行う予定です。また国環研さんでドローン調査を行っていただいた浅岐地区でも調査結果を基に森林整備の計画策定を進めていく方針です。今後は国の森林環境譲与税や県の森林環境税も活用した森林整備を行っていくことを予定しています。

森林環境譲与税とは・・・

温室効果ガス排出削減や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された。市町村では「森林整備及びその促進に関する費用」に充てられ、都道府県では「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てられる。(参考:林野庁HPより)

三浦健太郎さん、ありがとうございました。環境研だよりでは町の大切な資源である森林の状況について、今後ご紹介していきます。

<筆者紹介>

常盤 達彦 (ときわ たつひこ)

このところ大型の台風の発生が多くなってきています。昨年10月に発生した台風19号の被害も記憶に新しいですが、災害への対策について、今一度確認しておきたいですね。



国立環境研究所福島支部
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

野生きのこの採取・出荷にご注意ください！

三島町はマイタケのみ出荷制限が解除されています。出荷・販売する場合は事前に県の放射性物質検査が必要となりますので、役場 産業建設課へご連絡ください。(1kg程度の検体が必要となります)

マイタケ以外の野生きのこは出荷制限がかけられており、検査で基準値以下でも出荷・販売することはできません。なお、マイタケ以外の野生きのこについても出荷制限解除を目指しておりますので、県の放射性物質検査への検体提供について、ご理解とご協力をお願いいたします。県内では、出荷・販売できない野生きのこが直売所等の店舗やインターネットで販売される事案が発生しています。下記の点にご注意ください。

- ・年度が変わっても出荷制限は継続します。
- ・道の駅に配置されている自家消費測定機器等により、検査を行い基準値(100Bq/kg)以下であることを確認しても、出荷制限品目は出荷できません。

※出荷には下記のもの該当します。

①市場や直売所などへ野生山菜・きのこを出すこと

②インターネット等による通信販売

※フリマアプリ等を介した個人売買も出荷に該当するため、出荷制限品目の出品は出来ません。

③無償で他人に譲渡すること

○食堂や宿泊施設等での提供や乾燥や水煮などの加工品についても、出荷制限品目を原材料に使用することはできません。モニタリング検査の結果や出荷制限の状況につきましては、福島県のホームページなどで確認することができます。

(福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報【元：ふくしま新発売。】) <http://www.new-fukushima.jp/>
(福島県林業振興課) <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>

会津農林事務所 林業課 ☎ 0241 (24) 5734
産業建設課 産業係 ☎ (48) 5566

12月開講の職業訓練のご案内

■訓練生を募集しています

- 募集期間 9月17日(木)から11月18日(木)まで
- 募集訓練科名 CAD・NCコース・電気設備技術コース
- 募集定員 15名
- 訓練期間 令和2年12月1日から令和3年5月28日まで(6ヶ月間)
- 対象者 公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- 受講料 無料
- 選考日 11月20日(金) 午前9時から

■施設見学会のお知らせ

- 開催日時 10月26日(月)・28日(水)・11月4日(水)・9日(月)・11日(水)・16日(月)・18日(水)
各日 午後1時30分から午後3時45分
- 内容 ・今までのキャリア(職業能力)にプラスして、新たな技能習得のための職業訓練について理解していただく説明会で、当センターが実施しています。また、月曜日開催の施設見学会では、希望される方は訓練体験も受けられます。
・訓練内容について詳しく知りたい方は、最寄りのハローワークからお申し込み下さい。
※訓練生募集及び施設見学会に関するお問合せ先
ポリテクセンター会津 訓練課 ☎ 0242 (26) 0520

10月は「不正軽油撲滅強化月間」です

福島県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでおります。軽油に課税される軽油取引税を脱税する目的で、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして製造される燃料、いわゆる「不正軽油」が正常な軽油と偽って販売、使用されている事例があります。「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない」不正軽油の防止・撲滅には県民の皆様のご協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供につきましては、会津地方振興局県税部までご連絡ください。

会津地方振興局 県税部 ☎0242(29)5261

境界問題の解決を支援します

境界特定制度（筆界を明確にします）
法務局の職員が専門家の意見を踏まえて、申請者等の意見に拘束されず、真実の筆界を特定します。
土地家屋調査士会ADR制度（境界問題全般を解決します）
土地家屋調査士および弁護士が相談・調停を行い、柔軟に問題解決のお手伝いをします。
※相手方の心諾がないと、手続きを進めることができません。

福島県地方法務局不動産登記部門 ☎024(534)2048
土地家屋調査士会ADR制度 ☎024(535)3937
境界紛争解決センターふくしま

「労働困りごと相談窓口」のお知らせ

賃金未払い、解雇、退職など労使間のトラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。相談は、平日の面談や電話での相談のほか、FAXや電子メールで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。
受付時間 午前8時～正午午後1時～午後5時
(土・日・祝日を除く)

福島県労働委員会事務局 ☎0245(21)7594

林業退職金共済制度(林退共)の退職金請求について

林退共は昭和57年に発足した林業界で働く方のための退職金制度です。以前、林業の仕事に従事されたことがあり、その当時、林退共制度に加入していた方で退職金請求手続きをしたお心当たりのない方は、退職金をまだ受け取っていない可能性があります。最寄りの支部または本部へお問い合わせください。

林業退職金共済事業本部 事業管理課 ☎03(6731)2889

視覚障がい者の教育相談のお知らせ

福島県立視覚支援学校では、疾病などによる視機能低下（著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等）により、進学や就労でお困りの方のための教育相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。
日時 毎週月・水・金曜日の午前9時から午後4時まで
対象者 乳幼児から成人まで

福島県立視覚支援学校 ☎024(534)2574

ご寄付ありがとうございました

町へのご寄付（ふるさと納税）
井口清志様（神奈川県）
武田洋士様（神奈川県）
杉山雅英様（福島県）
町社会福祉協議会へのご寄付（遺志によるもの）
坂内孝様（名入）
黒鬼佐雄様（早戸）
柴智雄様（名入）
小部一芳様（桑原）
栗城克也様（西の方）
酒井昇成様（西の方）
萩野智成様（荒屋敷）

お悔み申し上げます

渡部タケ子（82才・桑原）
酒井吉子（86才・西方）
萩野耕市（82才・荒屋敷）

※『広報みしま掲載同意書』をご提出いただいた方のみを掲載しています。
特命担当課 ☎(48)5232

社会福祉協議会より サロンのご案内

- 大石田友遊サロン 10月5日(月)10時～ 大石田集会所
- 高清水・小しいきききサロン 10月6日(火)10時～ 高清水集会所
- 大登サロン 10月9日(金)10時～ 松原集会所
- 滝谷和楽塾 10月12日(月)13時30分～ 大登生活改善センター
- ひまわりサロン 10月13日(火)10時～ 滝谷集会所
- 川井友愛サロン 10月16日(金)10時～ 町民センター
- 川井友愛サロン 10月19日(月)10時～ 川井集会所
- 浅岐あつたかサロン 10月23日(金)10時～ 浅岐集会所
- サロンないり 10月26日(月)10時～ 名入集会所
- 間方いきいきクラブ 10月27日(火)10時～ 間方集会所
- 大石田友遊サロン 11月2日(月)10時～ 大石田集会所
- 高清水・小しいきききサロン 11月4日(水)10時～ 高清水集会所
- 松原はつらつクラブ 11月6日(金)10時～ 松原集会所

心配ごと相談所のご案内

10月15日(水)9時30分～11時30分 福寿草

社会福祉協議会 ☎(52)3344

町の人口と世帯 9月1日現在

人口	1,543	-9	出生	0
男	765	-2	死亡	7
女	778	-7	転入	3
世帯	747	-1	転出	5

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

司法書士による成年後見相談会のお知らせ

○相談内容 高齢者・障がい者に関わる法律問題、青年後見、遺言、相続、遺産分割、登記等
○期間 10月1日から10月30日まで
○予約受付 ☎0120(81)5539【フリーダイヤル】
平日午前9時から午後5時まで
○相談 予約の電話をいただき、電話相談の日時を調整させていただきます。

福島県司法書士会 ☎0245(34)7502

お詫びと訂正

広報みしま8月号16ページに掲載の「警察官・警察職員募集」の試験日程、合格発表日に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【警察官B】
第2次試験日 誤：10月29日(木)～30日(金) 正：10月25日(日)～10月28日(水)（うち2日）
【県職員(高校卒程度)警察事務】
第2次試験日 誤：10月29日(木)～30日(金) 正：10月29日(木)～30日(金)
最終合格発表日 誤：12月4日(金) 正：11月10日(火)

福島県警本部 人事係 ☎0120(276)314

10月の納税【納期限 11月2日】

町県民税【普通徴収】(第3期)
後期高齢者保険料【普通徴収】(第3期)
忘れずにお納めください

町民課町民係 ☎(48)5555

実りの秋を迎えました

9月下旬から町内各地で稲刈りの最盛期を迎えます



暑かった夏も終わりを告げ、実りの秋へと季節が移り変わりました。

町内各地で稲刈りが最盛期を迎えています。7月の大雨や日照不足の影響が心配されましたが、たわわに実った黄金色の稲穂がコンバインできれいに刈り取られていきました。

皆さんの食卓に、美味しい新米が並ぶ日ももうすぐです。



町長日記

～敬老の日の意義は 高齢化率が県内3位～

No. 61

9月21日の敬老の日になると、県内の市町村の高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）が高い市町村と低い市町村が新聞に掲載されます。高齢化率の高い市町村は大きな見出しとなり、今年は金山町が59・7%、昭和村56・9%、三島町54・1%と続き、次いで西会津町47・7%、只見町46・6%で県内上位5位までを、只見川流域の町村が占めました。

県内でも特に高齢化が進むこの地域の町村の高齢化率が上位になることは予想していません。しかし、何が原因で県内や東北でも高齢化が著しい地域なのか、新たな振興計画の樹立をしている今、その原因を考え頭を悩ませています。世界的な経済の動向で動かざるを得ない経済構造という現実を前に中山間地域は益々疲弊していくのではと推測されます。

日本の人口の推移を調べると、江戸幕府成立時の人口は約1227万人、享保の改革の時代は3128万人、明治維新が3300万人、第二次世界大戦終戦時は7199万人、2008年の1億2808万人がピークで、現在の出生率から推計するとこれからは急激に人口が減少することが予想され、2030年には1億1913万人、2050年には1億人を割るであろうといわれ、2100年には現在の人口の半分の6000万人から7000万人程度になると予想されています。

この急激な人口減少社会の対策として「地方創生計画」がありますが、計画達成には非

常に厳しい一面も垣間見えます。都市部に人とお金が集出し、日本は豊かになり急激な人口増加等による経済の拡大によって実った果実を、国民に分配してきた高度経済成長時代の「成長」という価値から、新たな価値を考える社会の創造をしていく必要があると考えます。現在の様々な国家間の貿易問題や石油に代表される資源の争奪、環境問題等が原因により世界が不安定になっっています。成長主義中心からの転換が必要な時代に入っています。

コロナ禍の時代により集中型社会から分散社会への移行が顕著になり、働き方改革やソーシャリティスタンス等の言葉の本質は、自然環境を核とした分権型社会・成熟型社会の方向で、豊かさの質や幸福感への質の転換を考える事が必要であると考えます。

先述した高齢化率が高い只見川流域の5町村のまちづくりは「自分の足下の泉を掘る」施策を展開してきた地域でもあり、会津地域全体で連携協力し、地産地消の仕組みづくりによって、会津地域自給圏経済が構築されるのではないかと考えています。

高齢化率という単純な数字の羅列では図ることのできない、三島町の高齢者の皆さんが元気に畑仕事やものづくりに勤しむ姿から、学ぶ事が多くあります。そんな風景を大切に、今年度は敬老会を開催できませんでしたが「敬老の日」という歴史性や心を大事にしながら「まちづくり」を展開していきます。

三島町長 矢澤 源成